

製品名: PCAF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15814**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	93kDa

抗原情報

遺伝子名	KAT2B
別名	KAT2B; PCAF; Histone acetyltransferase KAT2B; Histone acetyltransferase PCAF; Histone acetylase PCAF; Lysine acetyltransferase 2B; P300/CBP-associated factor; P/CAF
遺伝子 ID	8850.0
SwissProt ID	Q92831
免疫原	抗血清はヒト p300/CBP 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 783-832

背景

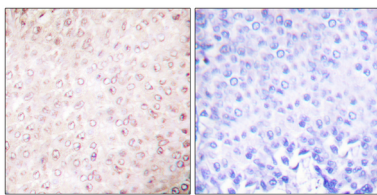
CBP と p300 は、c-jun やアデノウイルスがんタンパク質 E1A など、細胞の成長や分化に関与する多くの配列特異的因子に結合する大

型核タンパク質です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は p300/CBP と会合します。in vitro および in vivo において CBP および p300 との結合活性を示し、p300/CBP の結合部位を巡って E1A と競合します。また、コアヒストンおよびヌクレオソームコア粒子に対してヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を示すことから、このタンパク質は転写制御に直接的な役割を果たしていることが示唆されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、クロマチン構成、クロマチンリモデリング、転写、転写制御、DNA 依存性、タンパク質アミノ酸アセチル化、N 末端タンパク質アミノ酸アセチル化、細胞周期、細胞周期停止、細胞増殖の負の制御、内因性刺激への応答、ホルモン刺激への応答、有機物への応答、クロマチン修飾、共有結合性クロマチン修飾、ヒストン修飾、ヒストンアセチル化、N 末端ペプチジルリジンアセチル化、ペプチジルリジン修飾、ペプチジルリジンアセチル化、細胞周期過程、N 末端タンパク質アミノ酸修飾、インスリン刺激への応答、インスリン刺激に対する細胞応答、ホルモン刺激に対する細胞応答、細胞増殖の制御、ペプチドホルモン刺激への応答、タンパク質アミノ酸アセチル化、転写制御、RNA 制御代謝過程、染色体構成、

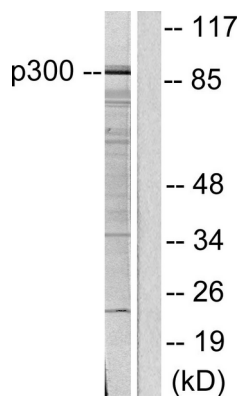
研究分野

タンパク質アセチル化

画像データ



p300/CBP 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COLO205 細胞ライセートの p300/CBP 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PCAF ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。